



お元気ですか！ 志村 たかよし です

第737号 2015年4月5日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

2015年度中央区各会計予算

ゼネコンや大企業には甘く、区民には冷たい区政がクッキリ

3月5日からはじまった予算特別委員会は、17日に閉会しました。最終日には、各会計予算案に対する各会派の態度表明がありました。

日本共産党区議団は「15年度予算案」を詳細に検討した結果、区民の要望や日本共産党区議団の要求、行政の努力などを反映して、認可保育所の増設や特養ホームの定員拡大、障害児放課後デイサービスの拡大、コミュニティサイクルの導入などの施策が予算化されていますが、抜本的な見直しが求められる問題が多々あると判断し反対しました。

主な問題点は次の通りです。



中央区に足りない 「住民の福祉の増進」への努力

区民の生活は大変な状況です。安倍自公政権がすすめた消費税8%への増税で消費の低迷が続ぎ、円安と株高によって大企業と大資産家は恩恵を受けているものの、国民の暮らしは悪化し、格差はさらに拡大しています。

日本共産党区議団が行っている「区民アンケート」にも、

「物価が上がり、食品価格も上がり、なのに給料は変わらず、消費税はすべてにかかってくるので本当につらい。死ねと言われていく気がする」

「アベノミクスの恩恵は我々零細企業には及ばない」

などの声が寄せられています。都政では、舛添都知事のもとで、不要不急の大型開発がひきつづき推進されようとしています。

国と都の悪政のもと、住民に身近な自治体は、地方自治法の「住民の福祉の増進を図る」立場に立つことが求められているのですが、中央区はそうなっていません。

予算の3割が「投資的経費」

中央区の15年度の一般会計予算は、前年比83億円（10%）増となり、909億2963万円で過去最大の規模になっています。

区長は「オリンピック・パラリンピックで中央区の黄金時代を!!」と、オリンピックをさらなる躍進のチャンスと捉え、オリンピックをテコにしたまちづくりを進めることに意欲を燃やしています。

15年度予算では、市街地再開発助成などの「投資的経費」に一般会計予算の3割＝273億円（昨年比33%増額）をあてています。



再開発事業にばく大な税金投入

市街地再開発事業への税金投入は、7事業に90億円を計上、予算の1割を占めています。

銀座6丁目（松坂屋跡地）や日本橋2丁目（高島屋周辺）などのオフィス、商業施設の再開発にもそれぞれ10億円以上の税金が投入される予定です。

国や都の「国際競争力を高める」都市づくり路線にのって、再開発事業が進行中のもの25事業、準備中が7事業、全部で32事業も進められようとしています。

税金投入とともに「都市再生特別地区」の手法により規制緩和や区道の改廃で開発業者に大サービスとして超高層・超過密な都市をつくることは、災害時の危険を増大させます。オフィスの供給過剰も指摘され、抜本的に見直すべきです。

また、住宅系の4つの再開発事業だけで約5350戸の住宅ができることになり、さらに人口が増え、インフラ整備が追いつかない事態が加速します。

大企業には甘く区民には冷たい

こうした「投資的経費」の増大で、財政が厳しくなるとして、区民には「受益者負担の適正化」の名のもとに、負担増やサービス削減を図り、駐輪場の有料化、放置自転車撤去・保管料の徴収を導入しました。

一方で、NTTや東京電力などの道路占用料（使用料）は、固定資産税評価額に見合う適正な料金への改定は具体化されず、大企業にたいして「受益者負担の適正化」を求めることには消極的です。

国保料、介護保険料も引き上げ

国民健康保険料の値上げが15年度も予定されています。

国民健康保険料が高すぎるため、中央区の滞納世帯は22%にのぼるといふ深刻な事態であるにも関わらず、一般会計からの繰入金で14年度より1億2千万円以上減らし、保険料負担は6千万円増となっています。

介護保険料も基準額で12%の引



上げとなります。介護保険制度の改悪で「所得によって介護サービスの利用料を2割負担にする」「後期高齢者医療の保険料の特例措置をなくす」など、高齢者にとっても負担増ばかりが重くのしかかります。

福祉の増進をはかるべき中央区が、ゼネコン・大企業にばく大な利益をもたらす大規模開発を促進させながら、区民サービスの削減や区民への負担増を強いるのは問題です。

党区議団「予算修正案」提出

日本共産党区議団は、昨年9月26日、「区民アンケート」などに寄せられた切実な要求を集約した510項目の「2015年度中央区予算編成に関する重点要望書」を区長に提出し、積極的に予算化

するよう求めてきました。今回の予算委員会でも、問題点を指摘するとともに積極的な提案を行い、予算修正案を提出しました。

修正案の主な内容は左表のとおりで、「区民の合意を問わず行う」としている駐輪場有料化の中止「ムダを省き、簡素で効率的な区民本位の行財政運営」「学校プールの一般開放、区の情報公開のいっそうの促進」などが柱になっています。この修正案は、他党派の反対で否決されました。

ひきつづき、区民本位の区政実現のため、がんばります。

《予算修正の内容》

- ★区立駐輪場有料化の中止
- ★放置自転車撤去・保管料徴収の中止
- ★月3小温水プールの一般開放
- ★情報公開の閲覧・視聴手数料の廃止
- ★議長交際費を半分に削減
- ★区長交際費を半分に削減
- ★議員の費用弁償の廃止
- ★賀詞交歓会の簡素化
- ★学習力サポートテストの中止